

令和5年度 第1回北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会
《議事要旨》

- 1 開催日時 令和5年8月24日(木) 15:30~17:30
- 2 開催場所 北杜市役所 北館3階大会議室
- 3 出席者〔委員〕 藤原真史、小川昭二、矢野望、船木良、村田茂、
鈴木良長、白倉美奈子、深澤文長、小野光一(敬称略)
〔市役所〕 市長 上村英司
副市長 小林 明
教育長 興水清司
北杜未来部長 宮川勇人 企画部長 中田治仁
総務部長 小泉雅人 市民環境部長 三井喜巳
福祉保健部長 清水市三 こども政策部長 大芝 一
産業観光部長 加藤郷志 建設部長 齊藤乙巳士
教育部長 加藤 寿 上下水道局長代理 浅川博之
財政課長 城戸潤子
〔事務局〕 政策推進課長 進藤修一
政策推進課 行政改革担当 日向重貴、有賀 翼、堀内 健
政策推進課 政策調整担当 篠原振一郎
- 4 欠席委員 片田委員
- 5 会議録署名 矢野委員、船木委員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍 聴 2名
- 8 議 事
 - 1) 開会
 - 2) 委嘱状の交付
 - 3) 市長あいさつ
 - 4) 委員長及び副委員長の選出について
 - 5) 委員長あいさつ
 - 6) 議題報告
 - (1) 北杜市公共施設個別施設計画の策定について
 - (2) 施設分類別方針(案)及び縮減面積について
 - (3) その他
 - 7) 閉会
- 9 会議経過
 - 1) 開会 [15:30]
 - 2) 委嘱状の交付
 - 3) 市長あいさつ
 - 4) 委員長及び副委員長の選出について
委員長に藤原委員、副委員長に小川委員を事務局案として提案し、選任された。
 - 5) 委員長あいさつ
 - 6) 議事

議事

(1) 北杜市公共施設個別施設計画の策定について

委員からの意見等なし

(2) 施設分類方針（案）及び縮減面積について

委員からの意見要旨は以下のとおり。

- 総合管理計画と個別施設計画のそれぞれ異なる点について整理されると良い。具体的には、機能と建物で細分化されている点、総合管理計画では大雑把な区切りで論じられていたが、その背後関係を今後様々な説明会で周知する際に補足・補助的な資料で整理されると計画間の関係やどのような議論で進めているか分かりやすい。総合管理計画では26分類程度であったが、中分類は47分類に増えているので、細分化したことが分かるような補助資料を準備いただきたい。
- 市民アンケートについて、同じような質問を別の方々に改めて伺えると良い。
- 市民アンケートについて、年代別や地域別での回答率は把握されているか。また、市内全域で地区ごとに無作為で抽出されているか。
回答) 年代については、回答者の約65%が60歳以上である。地域の人口分布を考慮し、地区単位で調査対象者数を算定した上で抽出を行った。
- アンケート調査は若い人の回答を得にくい傾向がある。施設分類によっては若い世代の利用が多い施設もあるので、個別検討において若い世代の意見もくみ上げていくようお願いしたい。
- 本市においては本庁舎建替えが計画されているが、どのくらいの期間内に建替えを検討しているのか。また、旧役場支所は行政センターとしてしばらく残していくということか。
回答) 現庁舎は仮庁舎の位置付けであり、合併後10年で本庁舎の方向性を定める予定であったが、現時点で建設地の確定ができていない。建設地の決定に向け、市として庁内で検討委員会を開催している段階で、望ましい適地や現在の本庁舎の問題点などを整理している。技術的な支援として、建設地や事業費の妥当性検証や調査を委託する予定である。また、検討結果を踏まえ、来年度に市民アンケート等の意見聴取を通じて方向性を定めていく。庁舎建設の時期は未定であるが、なるべく早急に進めたい。行政センターは、行革大綱に記載したとおり、窓口機能に特化した規模で存続予定であり、本庁舎が建つ場所は除き、その他の場所については建物を残す方向で検討を進めている。
- 本市の規模にふさわしい本庁舎管理方針にした場合に、総合支所等は複合機能化で庁舎としての面積は減らすという前提で計算をされたか。更新したとしても削減は可能という試算か。
回答) 旧役場の建物に支所が単体で入っている施設は面積も大きいため、複合化することで面積を削減していく想定である。なお、現時点で新庁舎の必要規模算定には至っていないため、現庁舎の面積を比較対象として記載している。
- よりマクロな視点で集約する施設の機能を充実させるための検討があってもいいのではないか。

地区内での検討に留めず、各地の住民の居住地から最も利便性の高い施設の利用を念頭に置いた検討も行っていただきたい。

回答) 面積が広さも考慮し、施設削減と同時に移動手手段の確保もした上で統合を検討していく。

- 今後 30 年という長い期間の検討を行う計画であるので、長期間の検討結果が将来的にも整合性が担保されることが重要。特に、施設に精通している職員の意見であり、それぞれ職員が掲げる施設への理想像のイメージが必要である。様々なアンケートや市民の意見を通して、部課長が積極的に取りまとめて計画に反映していただきたい。また、策定中の計画の中にどう反映されるのか仕組みを教えていただきたい。

回答) まずは、事務局で全体的な総量削減案を検討し、施設所管課との調整を通じて、目標 40% の縮減率が達成できるかどうか協議を行った。協議結果については、各担当から各部課長に報告する中で了解を得て整理をした結果となっている。

- 令和 5 年 3 月実施予定だった検討委員会が延期になったが、その理由は施設所管課との調整検討が追い付いていないというものであった。2 年かけて検討する計画において、施設所管課の検討が至っていなかった点は、スピード感が足りないように感じる。施設所管課の責任者の意見を適切に反映した計画となるようにしていただきたい。

- 施設数を削減する際に何を優先した数値になっているか。アンケート結果では、老朽化や不良部分が特定されているものを優先すべきとのことであるが、それを踏まえた上での削減数か。

回答) 縮減施設については、施設数や面積として減らす必要のある規模を提示しているが、大半は具体的にどの施設を除却すべきか決まっていない。今後、施設数と縮減面積数を目標にし、具体的な削減対象施設を各所管課がそれぞれ中心となり、市民の皆さまと協議を経て決めていく。ご指摘のとおり、劣化状況が著しい施設などを基本として判断するが、立地状況なども総合的に判断する。

- 令和 3 年 12 月に行ったパブリックコメントは、年末年始を挟んだ短い期間で実施され、その点を指摘された。策定の際には、HP での公開や説明会を実施予定としているが、資料 1 には含まれていない。前回の管理計画の委員会でも、市民への説明の重要性を何度も言及されていた。計画策定までの間に説明会や情報公開、パブリックコメントの期間延長はあるか。

回答) 令和 6 年 3 月までに策定する必要がある都合上、パブリックコメント期間を 1 月以降さらに延長することは難しいと考えているが、極力期間を延ばすように努めたい。

- 学校の統廃合に関係して各支所や文化施設が紐づけられた方向で都市計画として具現化してほしい。目標の縮減率に近づけるというよりは、地域住民へのサービスや子どもたちへの教育の充実に適った施設数や規模になることを希望する。

- 再編後の施設数が幅を持った数値とそうではない場合があるが、その辺りの考え方について教えていただきたい。

回答) 幅を持った数値の類型については、その範囲に収めることを示している。再編後の施設数が固まっている類型については、削減する必要がある面積を踏まえた施設数としている。しかし、この施設数で確定するわけではなく、また、上限値を示しているわけでもなく、必要に応じて数

は改定していくことが想定される。目標としての数を定め縮減していきたい。

- 今後、市民説明会を丁寧に行う際、最低限減らす施設数を明確に示されると良い。その中で委員の「住民サービスと子供たちへの充実した教育の維持」というご発言の主旨も含め大胆な見直しを進めるようお願いしたい。
- 入居者募集を止め、入居していない住宅は廃墟化しつつあり、ベランダの崩壊や野生の猫やハクビシンの住処になっている。市で除草作業を行っていただいているが、住環境の悪化に困っており、こうした課題への対処もスピード感を持って進めていただきたい。
回答) 市営住宅については、今後、廃止の対象となっている住居の方には別の住宅に移転していただく政策を、スピード感をもって促進していく。
- 本計画で重要な点は、維持管理や補修に必要な費用の膨大さである。基本となる財政負担額がどの程度軽減されるかが明記される必要があると考えるが、計画書への反映はどのように行うか。
回答) 施設数、面積が決まり次第、再編プランに基づいて、委託業者と共に概算費用を算出し、毎年の予算上限額を設け、その範囲内で優先順位を定めて進めていく。総合管理計画でも、財政負担に関して言及しており、過去 10 年間は、公共施設の維持管理に平均約 17.1 億円かかっているが、今後、多くの施設が更新時期を迎えていく中で、必要な予算が増加してしまう。40%削減できれば、将来更新費用が単年度当たり 22 億円程度まで圧縮されると考えている。17.1 億円との乖離を縮めるために、行政改革大綱に基づく様々な対策を行っていく。
- 観光案内所は、DX 化への対応を踏まえ、拠点となる数箇所にもまとめても良いのではないか。
- 駐車場は、種類によっても維持費は様々であるので、場所によっては受益者負担を考えても良いのではないか。今後、北杜市の主要産業である観光の管理運営の関係として考えていけると良い。
- 本市は 8 つの町村が合併し、それぞれ施設は旧自治体で作ったものなので、地域住民はそれらの施設に愛着があるが、40%削減しなければならないということも理解できる。民間への委託に切り替えて建物は残る分には良いが、特定の地区のみ施設が減らされるのは望ましくないので、市全体でバランスの良い配置となるよう検討をお願いしたい。

(3) その他

事務局から今後のスケジュールを説明し、また、今回の会議における追加意見があれば事務局あて連絡いただきたい旨を説明した。

7) 閉会 [17:35]

以上